

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	電気法規・施設管理						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	4年前期		
必修・選択の別	選択(組込みシステムコース)/選択必修(電気エネルギーコース)/選択(情報システムコース)						
担当者	原谷 直実						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気関係法規の種類とその必要性を説明できる。(A10) ・電気工作物技術基準を電気工作物に適用できる。(C6) ・自家用電気工作物の保守管理ができる。(C7) 						
日程と内容	第 1回 : 04/10 導入講義：講義内容の概略と授業の進め方、成績評価法。電気関係法規の体系と必要性(演習) 第 2回 : 04/17 電気事業の種類、電気事業に関する法律の必要性(演習) 第 3回 : 04/24 電気事業と電気法規の変遷(演習) 第 4回 : 05/01 電気事業法(演習) 第 5回 : 05/08 電気工作物(演習) 第 6回 : 05/15 電気主任技術者と電気工事士の業務内容(演習) 第 7回 : 05/22 電気工作物の技術基準(演習) 第 8回 : 05/29 用語(演習) 第 9回 : 06/05 接地工事(演習) 第10回 : 06/12 電力需給と電源開発(演習) 第11回 : 06/19 電力系統の運用、周波数と電圧の調整法(演習) 第12回 : 06/26 自家用電気設備の保守管理、保安規程と保守管理体制(演習) 第13回 : 07/03 総合演習第1回 第14回 : 07/10 総合演習第2回 第15回 : 07/17 総合演習第3回 07/24 定期試験						
成績評価基準	定期試験	80%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	20%					
授業到達目標の達成度	講義形式の授業で実施する範囲で、授業到達目標を達成している						
反省点	今年度は、学生にテキストの音読をさせた。年齢が上がるにつれて、音読する機会が減少してくるので、学生にとっても新鮮だったようだ。音読して漢字の読み間違いに気づくこともあったようだ。実物を扱わない点は、改善の余地がある。						
来年度の計画	自家用電気工作物の保守・管理の観点からの実習を授業内容に含めることも模索したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	4年次生を対象に開講している授業科目であるので、受講生との信頼関係も保て、双方とも納得のいく授業であったと思われる。ただ、就職活動で欠席することが頻繁であった学生は、授業内容の継続性を維持するのに苦労したかもしれない。授業評価アンケートの結果もそれを裏付けていると思う。(2012年度8.3、2013年度8.4、2014年度8.5)						
履修登録者数	36名	定期試験 受験者数	34名	合格者数	34名	合格率	100%